

都市再生整備計画(第5回変更)

くら蔵のまち^{しゅうへん}周辺地区

あいち愛知県 はんだし半田市

平成21年3月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	はんだし 半田市	地区名	蔵のまち周辺地区	面積	133 ha
計画期間	平成	17	年度	～	平成	21	年度
交付期間	平成	17	年度	～	平成	21	年度

目標

出会い と にぎわい あふれるまちづくり

歴史・文化・自然等豊かな地域資源を活かし魅力ある観光まちづくりを推進することにより、住民の生活の質の向上と地域経済の活性化を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・2005年2月知多半島常滑沖に中部国際空港が開港することにより新たに生じる人の流れと、愛知万博の開催によりさらに加速される人の流れを最大限に活かし、空港と豊富な観光資源を持つ知多半島五市五町が一体となって知多の魅力情報を発信し、トランジット客を含む観光客の誘致を行い、地域経済の活性化を図るため地域再生計画 中部国際空港を核とする知多半島観光再生計画 を策定し、平成16年6月に国の認定を受けた。この計画では、さまざまな観光資源を有効に活かした交流の渦を巻き起こして、知多半島地域の経済の活性化と雇用の創出を図ることを目的としているものである。

半田市には、31台の山車が春に市内各地区に別れて曳きまわされる半田の春まつり、その山車が5年毎に一堂に会し豪華絢爛に曳き回され40万人以上の観光客が訪れる「はんだ山車祭り」、童話作家で代表作「ごんぎつね」で小学校の教科書でも紹介されている新美南吉記念館、知多半島に点在している知多四国めぐりの寺院、市立の科学館、博物館、私設のかみや美術館を始め多くの観光資源を有している。

・本地区のうち知多半田駅前においては、平成11年度に中心市街地整備改善活性化基本計画を策定し、その内早急に活性化が必要な地区として土地画整理事業及び、市街地再開発事業を同時施行している。また、ふるさとの顔づくりモデル土地画整理事業の地区指定及び、平成13年度には旧まちづくり総合支援事業の採択を受け、継続的に半田市の玄関口にふさわしい街なみの形成を図っている。

・地区内には、下述のとおり観光資源を有するが、施設周辺ならびに中心市街地において観光客が回遊する状況ではない。

〔赤レンガ建造物〕

明治時代に半田で創業され、当時はエビス、キリン、アサヒ、サッポロと並ぶ5大ビールメーカーのひとつであった旧カプトビールの工場であり、現存する工場が極めて少ないため、初期ビール工場の姿を伝える遺構として貴重な施設である。現存するレンガ建造物の中では東京駅、横浜赤レンガ倉庫、北海道庁に次ぐ規模を有する。

〔紺屋海道〕

古くからのまちなみの残る街道で、平成14年度より名鉄・JRのウォーキングコースになり平成15年にはウォーキングツアーの1番人気コースになるなど訪れる人の数が増加している。新規店舗の開店や、メディアへの露出もあり知名度はアップしている。

〔蔵のまち〕

環境省の「かおり風景100選」に愛知県下で唯一認定されている景観のすぐれた場所であり、醸造業をはじめとした地場産業が展開し、蔵や伝統的なまちなみが残されている。酢の里、酒の文化館といった観光施設もあるが、点在し他施設との連携が乏しいため観光パスのトイレ休憩等に利用されることが多く滞在時間が短い(酢の里、酒の文化館の同時利用は全体の20%程度)。平成14年開催時には全国から47万人の観光客を迎え入れた、5年毎に開催される半田山車祭りのメイン会場ともなる地区である。

〔旧中笠家住宅〕

旧中笠家住宅は、明治44年当時の中笠軒店社長中笠半六が建てた洋風建築で、国の重要文化財に指定され、現在はTMOにより紅茶専門店として一般公開している。

・本計画に関連して、JR半田駅前においては、平成22年度より土地画整理事業(道路特会)により、都市基盤整備ならびに居住環境の改善を図る計画である。

・平成16年6月、まちづくり担当推進監を中心とした6課で都市再生整備計画に関する目標設定や、事業の選定作業を行いとりまとめをした。

・平成17年1月に運河周辺地区において、景観重点地区に指定し資源、景観の保全に努めていく。

課題

・都市機能面及び、景観上からも、半田市の玄関口として観光客を迎えるための広域的交流拠点の整備が必要である。

・運河、蔵、酢の里、酒の文化館、赤レンガ建物といった十分な観光資源を有しているながら、それがまちの賑わい創出に生かされていない。

・本市そのものが観光都市ではなかったため、市外から訪れる人を歓迎する意識が弱く、そういった視点でのまちづくりがなされていない。

・中部国際空港の開港により知多半島に新たに1200万人ともいわれる人の流れが生じる。同じく愛知万博の開催によりさらに人の流れが加速することが考えられるためこのチャンスを活かし観光客の増加につなげていく必要がある。

将来ビジョン(中長期)

<半田市総合計画>

半田市の中心市街地の核である名鉄知多半田駅周辺の土地画整理事業及び再開発事業を推進して高度な都市機能を誘導し、広域的な交流拠点を形成する。また、運河、蔵及び既存の民間観光施設と併せ、観光の中心地としての景観整備を図り、港から運河に至る水辺空間と蔵のある風景、赤レンガ建造物など、歴史文化を活かした魅力ある交流を演出する舞台とする。

<半田市都市計画マスタープラン>

名鉄知多半田駅及びJR半田駅周辺については、本市の玄関口としてふさわしい景観形成を図り、半田運河周辺区域を本市の歴史と伝統のシンボルゾーンとして位置づける。

<半田市観光振興計画>

半田運河と蔵のまちを活用した修景整備を行うことで、半田市を象徴するシンボルゾーンを形成する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
来街者数	人/日	鉄道の乗降客数(名鉄知多半田駅、住吉駅・JR半田駅)	現在の利用客のほとんどが通勤通学客であるため、まちの回遊性、滞留性を増すことで鉄道を利用した観光客を増加させる。	18,733	H15	20,000	H21
商業店舗数	店舗	地区内にある中心市街地区域内における店舗数	地区内にある中心市街地区域内における店舗数の減少を抑制する。 <平成11年から平成16年にかけて5年間で59件(17%)減少>	235	H16	235	H21
酢の里・酒の文化館の来場者数	人/年	年間来場者数	他の観光施設との連携を定着させることにより来場者の減少を抑制する <平成8年から平成13年にかけて27,149人(18.6%)減少>	118,000	H13	118,000	H21
住民満足度アンケート調査	%	住みやすさの満足度アンケート	にぎわいを取り戻し、まちの活性化を図ることにより住みやすさの満足度を増進させる。	66.4	H9	70.0	H21

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 <半田市の玄関口にふさわしいまちづくり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在施行中である、名鉄知多半田駅前の土地区画整理事業を早期完了し、観光客を迎え入れる体制づくりをすすめる。 ・まちのマイナスイメージとなる自転車の放置や、施行中の区画整理に伴う空き店舗、空閑地の解消を図り、商業地に連続性、賑わいをもたらす。 ・本地区内の未整備の公園を整備することにより、訪れた人に憩いの場を提供できる環境を整えるとともに、災害時における周辺住民の避難所として防災機能の充実を図る。 ・H17年度完成の市街地再開発ビルに子育て支援施設を設置し、商業施設とともに賑わい創出の起爆剤とする。 ・今後予定されているJR武豊線の連続立体交差事業及びこれに関連したJR半田駅前地区の土地区画整理において「まちづくり」計画に住民が参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知多半田駅前土地区画整理事業(関連事業)・知多半田駅前地区市街地再開発事業(関連事業) ・土地区画整理(基幹事業)知多半田駅前土地区画整理)・公園((基幹事業)おおまた公園他) ・地域生活基盤施設((基幹事業)情報板、駐輪場整備) ・高質空間形成施設((基幹事業)バスシェルター、ベンチ、エレベーター(知多半田駅)) ・道路(基幹事業)(都)名古屋半田線、(都)荒古線 ・まちづくり活動推進事業((提案事業)まちづくり協議会支援事業、市民活動支援事業) ・地域創造支援事業((提案事業)名鉄知多半田駅内バリアフリー化事業(エレベーター他)) ・JR半田駅前地区土地区画整理事業(関連事業)、鉄道(JR武豊線)連続立体交差事業(関連事業) ・市民交流センター公益床取得事業(関連事業)、人工地盤(駅舎から市街地再開発ビルへ)整備事業(関連事業)、子育て支援事業(関連事業)、人にやさしいまちづくりワークショップ支援事業(関連事業)
<p>整備方針2 <蔵のまち観光案内の充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市機能の充実を図るとともに、半田運河、酢の里、酒の文化館、その他歴史文化施設など各施設をネットワークする散策ルートの策定及び明示を行い、観光客の増加を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観重点整備事業((関連事業)運河修景整備県施行) ・地域生活基盤施設((基幹事業)情報板) ・JR半田駅前地区土地区画整理事業(関連事業)
<p>整備方針3 <協働による"にぎわい"の創出></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の観光資源が比較的小規模であり、効果的な連携が果たされていないため、玄関口である名鉄知多半田駅から蔵のまち周辺地区、紺屋海道を通り赤レンガ建造物、旧中壱家住宅に至るルートを一連の観光施設として定着させるため、各所への案内板の設置に合わせ、官民協働による各種PRイベントを催すことによりまちの回遊性、滞留性を増進させる。 ・はんだ山車祭りを平成19年度に開催するため、半田のみならず知多半島の魅力を最大限アピールする各種イベントを展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵のまち協働まちづくり事業((関連事業)雛祭り、端午の節句、夏祭り、イルミネーション他) ・地域創造支援事業((提案事業)有形民俗文化財保存伝承事業) ・半田山車祭り実施事業(関連事業) ・紺屋海道協働まちづくり事業(関連事業) ・赤レンガ特別公開実施事業(関連事業) ・地域生活基盤施設((基幹事業)情報板)
<p>その他</p> <p><交付期間中の計画の管理について></p> <p>交付期間中において、事業の円滑な進捗と目標として掲げた「住民の生活の質の向上と地域経済の活性化を図る」ため、まちづくり推進監を中心とした庁内体制作りをし、計画の管理実施、関係他団体との連絡協議、進捗途中での事業の再評価等と共に住民への広報活動を続けていく。</p> <p><事業終了後の継続的なまちづくりについて></p> <ul style="list-style-type: none"> * 中心市街地活性化のための継続的な支援 <p>平成11年度に設立された、タウンマネージメント半田(TMO)と共に、市民、商業者と一体となって各商店街リノベーション事業、空き店舗対策、花いっぱい運動等ソフト事業を中心とした取り組みを支援していく。</p> * 施設の清掃等への住民参加(半田クリーンボランティア) <p>自分の部屋や家などをきれいにするように、子供のように愛着をもって公共施設もきれいに、との観点から半田市では平成12年度より市民に公共施設の里親になってもらい、ボランティアで公共施設の管理と美化をお願いする里親制度を開始しており、市民が自分たちの手で行うまちづくりのバックアップを続けていく。</p> * 美しい景観作りのために <p>良好で快適な景観の維持には、市民と力を合わせることで成り立つものであり、平成16年度半田運河周辺地区を景観重点整備地区に指定し、地区住民の意見を聞きながら地区の特性を活かした景観作りのための計画等を定めていく。また、景観アドバイザー制度により、継続的に美しい景観作りを支援していく。半田市都市景観基本計画は、平成5年3月に策定している。</p> 	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,711	交付限度額	641	国費率	0.375
---------	-------	-------	-----	-----	-------

(金額の単位は百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度						
道路	(都)名古屋半田線	半田市	直	L=100m	H17	H21	H20	H21	88	88	88		88	
	(都)荒古線	半田市	直	L=100m	H18	H21	H18	H21	202	202	202		202	
公園	おおまた公園	半田市	直	1,200㎡	H19	H19	H19	H19	19	19	19		19	
	更生公園	半田市	直	4,200㎡	H21	H21	H21	H21	50	50	50		50	
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム	-			-										
地域生活基盤施設	-	半田市	直	-	H18	H20	H18	H20	19	19	19		19	
高質空間形成施設	-	半田市	直	-	H18	H19	H18	H19	219	219	219		219	
高次都市施設	-			-										
既存建造物活用事業	-			-										
土地区画整理事業	知多半田駅前地区	半田市	直	17.7ha	H10	H19	H17	H19	554	554	554		554	
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計									1,151	1,151	1,151		1,151	
...A														
提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業	有形民俗文化財保存伝承事業	半田山	半田山祭り保存会	間		S55		H17	H20	229	229	56	173	56
	知多半田駅内バリアフリー化事業	名鉄知多半田駅	半田市	直		H18		H18	H19	729	729	479	250	479
まちづくり推進活動事業	市民活動支援事業	知多半田駅前地区	半田市	直	690㎡	H17	H21	H18	H21	10	10	10		10
	まちづくり協議会支援事業	JR半田駅前地区	半田市	直		H16	H21	H19	H21	15	15	15		15
合計										983	983	560	423	560
...B														

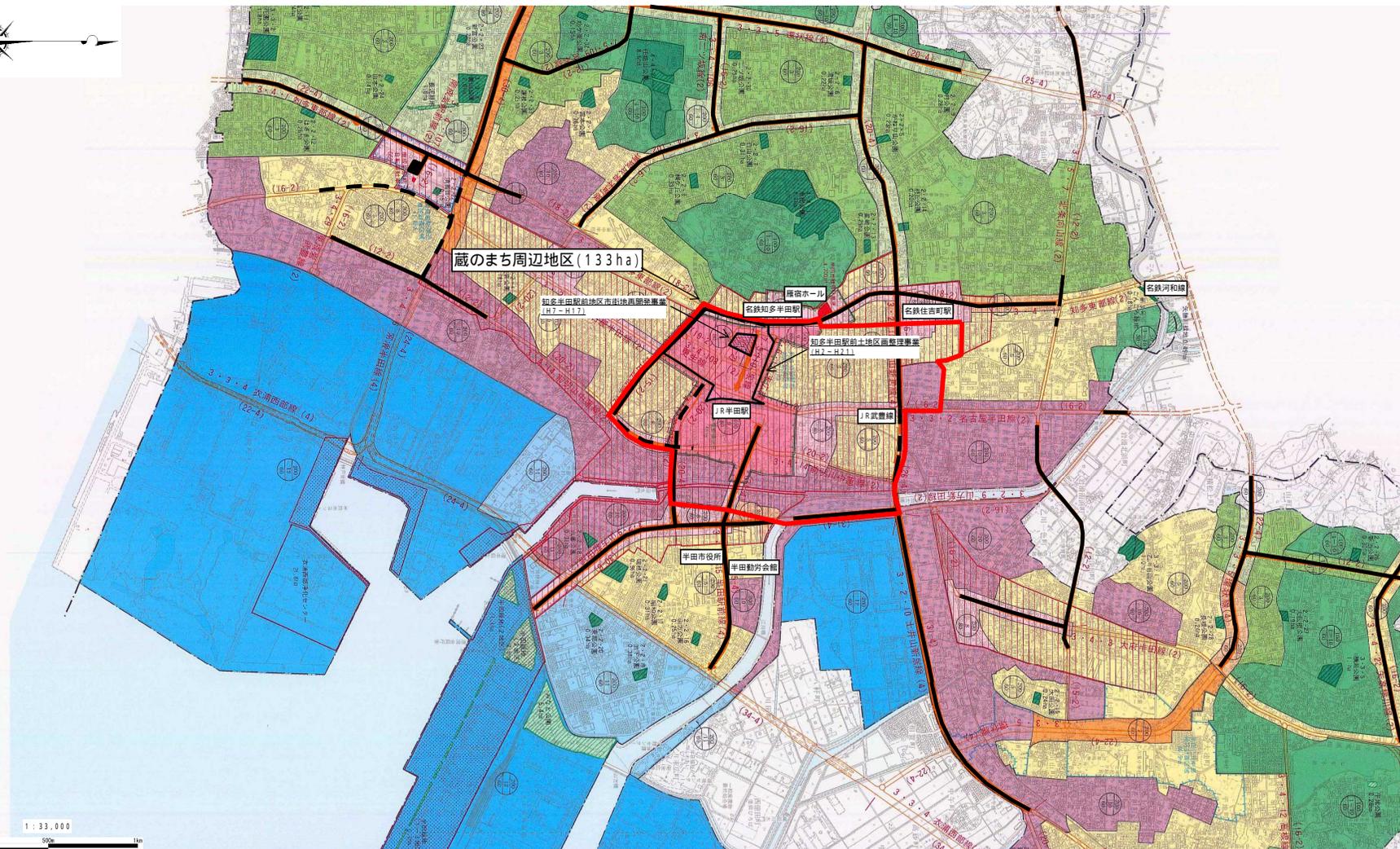
蔵のまち周辺地区 (愛知県半田市)

面積

133 ha

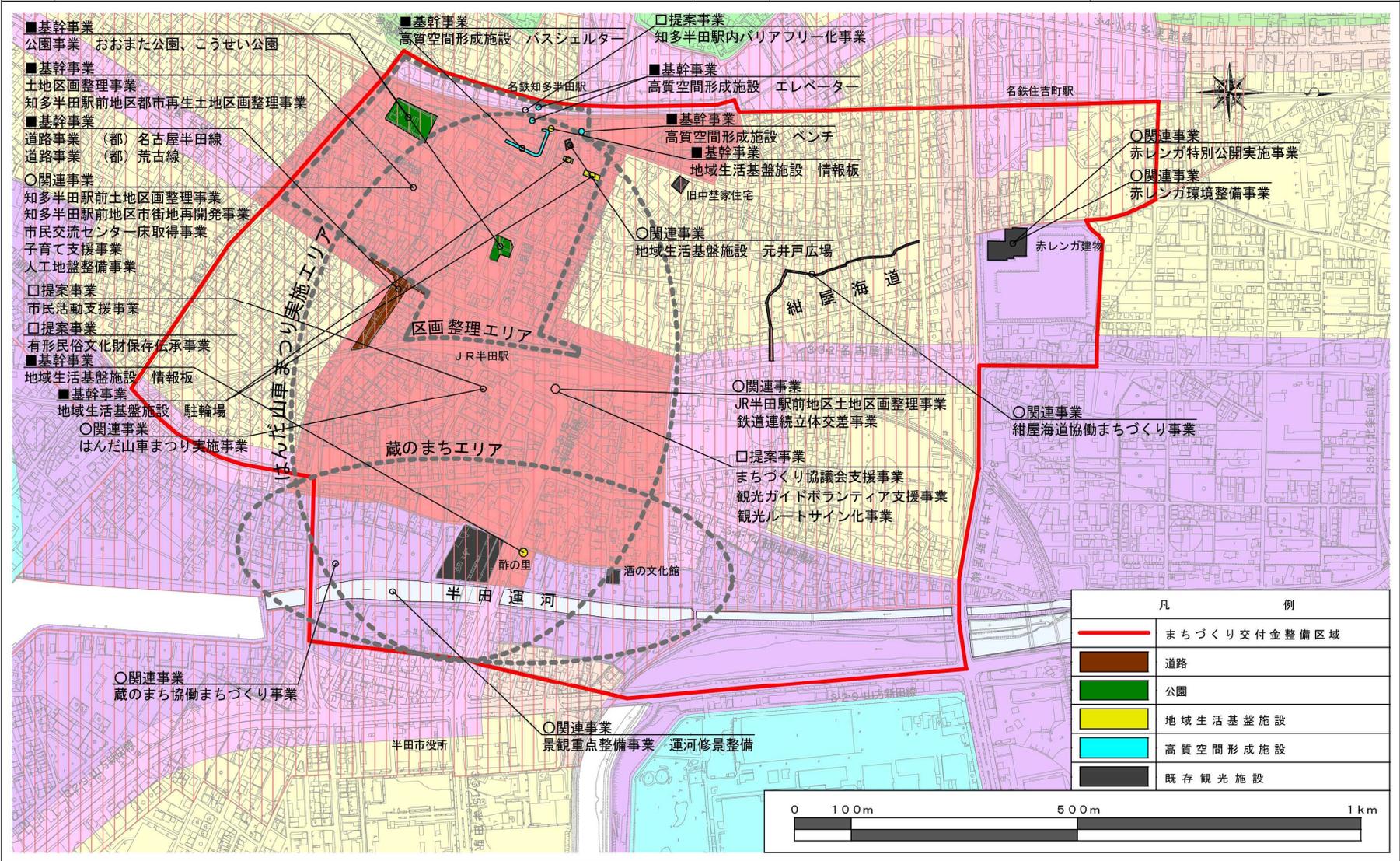
区域

榎下町、清水東町、西新町、東新町、勘内町、前崎西町、東町、堀崎町、天王町、泉町、北・南末広町、広小路町、山崎町、御幸町、中村町、更生町、協和町、妙見町の全部、宮地町、住吉町、清水北・西町、東本町、本町、東雲町、港本町、南本町、銀座本町、新栄町、幸町、中町の一部



蔵のまち周辺地区（愛知県半田市）整備方針概要図

目標	出会いとにぎわいあふれるまちづくり	代表的な指標	来街者数 (人)	18,733 (H15) → 20,000 (H21)
	歴史・文化・自然等豊かな地域資源を活かし魅力ある観光まちづくりを推進することにより 住民の生活の質の向上と地域経済の活性化を図る		商業店舗数 (店舗)	235 (H16) → 235 (H21)
	酔の里酒の文化館の来場者数 (人)		118,000 (H13) → 118,000 (H21)	



- 基幹事業
公園事業 おおまた公園、こうせい公園
- 基幹事業
土地区画整理事業
知多半田駅前地区都市再生土地区画整理事業
- 基幹事業
道路事業 (都) 名古屋半田線
道路事業 (都) 荒古線
- 関連事業
知多半田駅前土地区画整理事業
知多半田駅前地区市街地再開発事業
市民交流センター床取得事業
子育て支援事業
人工地盤整備事業
- 提案事業
市民活動支援事業
- 提案事業
有形民俗文化財保存伝承事業
- 基幹事業
地域生活基盤施設 情報板
- 基幹事業
地域生活基盤施設 駐輪場
- 関連事業
はんだ山車まつり実施事業

- 基幹事業
高質空間形成施設 バスシェルター
- 提案事業
知多半田駅内バリアフリー化事業
- 基幹事業
高質空間形成施設 エレベーター
- 基幹事業
高質空間形成施設 ベンチ
- 基幹事業
地域生活基盤施設 情報板
- 旧中笠家住宅
- 関連事業
地域生活基盤施設 元井戸広場

- 関連事業
JR半田駅前地区土地区画整理事業
鉄道連続立体交差事業
- 提案事業
まちづくり協議会支援事業
観光ガイドボランティア支援事業
観光ルートサイン化事業

- 関連事業
赤レンガ特別公開実施事業
- 関連事業
赤レンガ環境整備事業
- 関連事業
紺屋海道協働まちづくり事業

凡	例
	まちづくり交付金整備区域
	道路
	公園
	地域生活基盤施設
	高質空間形成施設
	既存観光施設

